

令和5年度事業報告書

社会福祉法人 至福の会

法人本部

特別養護老人ホーム むさしの園

むさしの園ショートステイ

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

サービス推進課

ひまわり保育園

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

むさしの園ホームヘルプサービス

生活困窮者に対する相談支援事業

むさしの森保育園

目 次

法人本部	P 1～P 5
特別養護老人ホーム むさしの園 むさしの園ショートステイ	P 6～P 7
ケアハウス むさしの園	P 8～P 9
むさしの園デイサービスセンター	P 10～P 11
サービス推進課	P 12～P 13
ひまわり保育園	P 14～P 15
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P 16～P 17
むさしの園デイサービスセンター富士見	P 18～P 19
むさしの園在宅介護支援センター	P 20～P 21
むさしの園ホームヘルプサービス	P 22～P 23
生活困窮者に対する相談支援事業	P 24～P 25
むさしの森保育園	P 26～P 29

法人本部

1 社会福祉法人至福の会・法人の概要

- (1) 主たる事務所の所在地
埼玉県狭山市南入曽1044番地1
- (2) 代表者名
理事長 大野裕明
- (3) 法人認可年月日
平成9年3月19日
- (4) 法人認可番号
指令高福第1745号
- (5) 法人設立登記年月日
平成9年3月21日

2 法人の行う事業

(1) 第1種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	特別養護老人ホーム（従来型）	90名
2	特別養護老人ホーム（ユニット型）	100名
3	ケアハウス	20名

(2) 第2種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	ショートステイ	10名
2	デイサービスセンター（入曽）	60名
3	デイサービスセンター富士見	45名
4	在宅介護支援センター	
5	ホームヘルプサービス	
6	生計困難者に対する相談支援事業	
7	認可型保育園 むさしの森保育園	90名
8	一時預保育園 むさしの森保育園	10名

(3) 公益を目的とする事業

No	施設種別	利用定員
1	居宅介護支援事業	
2	企業主導型保育園 ひまわり保育園	19名

(4) 職員数260名

3 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	理事	監事	
令和5年6月2日	6	2	決議事項 1 令和4年度事業報告（案）について 2 令和4年度決算報告と福祉充実残高（案）について 3 令和4年度監事報告について 4 ホームヘルプ事業休止について 6 むさしの森保育園の前期末支払資金残高の取崩（案）について 7 定期評議員会の開催日と議題について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和5年 6月2日			決議事項 1 次期任期理事長の選出について 2 経理規程の一部改訂（案）について 3 給与規程の一部改訂（案）及び資金運用規程（案）について 4 むさしの森保育園の園則の一部改正と運営規程廃止について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和5年7月 13日	6	2	決議事項 1 経理規程の一部改訂（案）及び資金運用規程（案）について 2 第1次補正予算（案）について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和5年10月24日	6	1	決議事項 1 就業規則の一部改訂（案）について 2 第2次補正予算（案）について 3 令和5年度資金運用事業計画の一部改正について 4 大規模修繕について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和5年 3月26日	6	2	決議事項

			1 就業規則等3種類の就業規則一部改訂（案） 新規規程について 2 第3次補正予算（案）について 3 令和6年度事業計画（案）について 4 令和6年度当初予算（案）について 5 年間100万円以上の規約について 6 運営規程の一部改正について 7 介護ソフトの入れ替えについて 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について 行政指導監査報告について
--	--	--	---

4 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	評議員	監事	
令和5年6月20日	7	2	書面決議事項 1 令和4年度事業報告について 2 令和4年度決算報告、社会福祉充実残額について 3 監事監査報告について 4 役員等について 報告事項 1、理事長の活動状況について 2、評議員変更について 3、ホームヘルプ事業休止について

55 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議・議事事項
令和5年5月11日	3	次期の評議員選出

6 監事監査の状況

監査年月日	監査内容及び結果
令和5年6月3日	<p>内 容</p> <p>社会福祉法人至福の会の令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人至福の会の財産の状況について「監事監査重点項目」に従って監査を実施した。</p> <p>結 果</p> <p>令和4年度の社会福祉法人至福の会の事業報告、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び決算付属明細表は、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適性であった。</p>

特別養護老人ホーム むさしの園
むさしの園ショートステイ

事業所目標	【1】稼働率 平均98%/年 ⇒98.2% 達成
	【2】事故削減 R3 368件⇒R4 315件⇒ R5 297件
	【3】イベントの開催
	【4】定着率向上 R4 19.7% ⇒ R5 11.6% 目標10%未達
	【2】職場環境の改善 設備の改善

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計	平均
稼働(平均)	99.5	99.7	100.3	98.5	99.6	98.9	98.4	99.3	98.5	95.6	94.2	95.5		98.2
入居	4	3	1	3	2	2	1	0	4	2	3	4	29	2.4
退居	4	0	3	2	2	2	0	3	4	2	7	2	31	2.6
入院(延べ)	90	66	103	127	135	75	6	28	79	120	190	94	1113	92.8
事故件数	22	24	30	27	20	28	33	28	25	20	20	20	297	24.8

<p>【稼働】 1月からのクラスターの影響で特養とSSの新規受け入れを止めたことと退去の補填が遅れたため、1月～3月の稼働が月間目標を未達 上期平均稼働率 99.4% 下期平均稼働率 96.9%</p> <p>【事故削減】 前年対比10%削減目標 ⇒ 6%削減 315件 ⇒297件 転倒件数 前年162件⇒135件 17%減 外傷 前年47件⇒71件 51%増 特に増減傾向があったものとして転倒と外傷があり、転倒を軽減できたことは評価できますが外傷に関しては、皮膚剥離など移乗時や利用者の肌ケアなどへの配慮を必要とする報告が多く医務と連携し削減への改善が可能と考えられるものでした。 入院日数 R4 1412日 ⇒R5 1113日 299日削減</p> <p>【イベント】 保育園との交流など季節に合わせた行事開催を行うことはできたので、今後ご家族との交流を検討ボランティアの受け入れ再開を予定</p> <p>【定着率向上】 R4 離職率19.7% ⇒ R5 離職率 11.6 8.1%削減したものの目標10%に対して未達 R5 退職者数 8名(2名勤務実績1週間未満、1名2か月未満)</p> <p>【職場環境の改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月～介護ソフト入れ替え実施(インカム音声入力の運用、タブレットスマホとの連動) 5月まで既存ソフトと併用、5月から記録はケアカルテへ移行、請求は5月実績6月請求から移行 ・車いす37台(約1/3入れ替え) ・大規模修繕申請許可とおりR6年度着工予定

ケアハウスむさしの園

事業所目標	<p>【1】稼働率 平均99%/年 ⇒ 97.5%</p> <p>【2】クラブ活動の開催</p> <p>【3】行事の開催</p> <p>【4】BCP計画の訓練実施</p> <p>【5】環境改善 経年劣化による居室設備の改善</p>
-------	---

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計	平均
稼働(平均)	100.0	94.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	94.1	94.1	94.1	100.0	94.1		97.5
入居	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	6	0.5
退居	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	5	0.4
クラブ活動	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	3	54	4.5

【稼働】

短期間での退去（特養への移動）

平均年齢88.1歳 平均介護度 1.1 特養よりも平均年齢が4歳高い現状

短期間で退去された方が4名 課題として入居審査が簡略化されていたため、転居後に認知症の想定があまく、他入居者とのトラブルや独居生活困難などの理由があった

入居フローを見直しし、改善に取り組む

【クラブ活動の開催】

定期的な活動が行われており、保育園からの依頼も増え、手芸クラブを通じて保育園との交流機会も増やすことができた

【行事の開催】

季節行事と特養、保育園との交流機会が増やすことができた

毎月お買い物ツアーを実施するなど、外出機会を増やすことができた

【BCO計画の訓練】

訓練実施には至らず、R6年度に特養と合同で実施予定

【環境改善】

入退去に合わせて居室のリフォームを実施

むさしの園デイサービスセンター

事業所目標	【1】稼働率 平均80%/年 【2】クオリティーインプルーブメントに取り組む 【3】不適切行為ゼロ（接遇マナーの向上） 【4】感染症に対する意識・対応力のレベルアップ 【5】事業継続計画（BCP） 【6】定着率向上（離職率10%未満）
-------	--

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1】稼働	52.7	52.5	54.0	56.5	54.1	54.8	52.9	53.8	53.5	49.7	50.7	48.5	633.7	52.8
【1】新規申込	9	5	4	10	5	4	6	8	3	4	3	8	69	5.8
【2～4】内部監査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
【2～4】研修実施	3	2	2	3	3	2	2	2	2	2	3	3	29	2.4
【6】定着率向上	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.0	100.0	1198	99.8

【1】 稼働率 …… 未達成
 年間を通して、新型コロナウイルス感染に伴う利用控え、利用停止、入院等の影響が大きく作用した。デイサービスの性質上、外部との接点が多く感染症による影響が大きかった。また、年末にかけて利用終了者が10名以上と予測を上回る減少が発生したこともあり、稼働率が伸び悩んだ。
 今期も新規問い合わせが少しずつ増えてきている。入浴希望の要支援者を受け入れる施設が減少している中で、積極的に受け入れていく。また、新型コロナウイルス流行時は見学中止、体験中止となり利用に繋がる機会損失があったが、前年度と同じ水準で稼働を維持できた。

【2・3・4】クオリティーインプルーブメント、不適切行為ゼロ、感染症に対するレベルアップ…達成
 より質の高いサービスを提供することによって多くの事故が未然に回避できるという考え方を基本として、不適切行為は事故につながる危険性があることや研修等を通して、接遇マナーの向上も事故を未然に回避する手段にもなることを理解し取り組めた。感染症については、前年度からの継続的な研修やコロナ感染の疑いがある利用者が複数名でた際に、連携をとりながら対応できたことがレベルアップに繋がった。

【5】事業継続計画…達成
 利用者・職員の安全を最優先し災害時、感染症発生時の対応を事業継続計画として作成した。

【6】定着率向上…達成
 ドライバー1名が試用期間内で、持病の悪化から退職したが、目標を達成できた。人員不足の中、定着率向上は今後も大きな課題であり、職員の高年齢化、それに伴う離職が増加すると考えられる。機能訓練士も含めた若干名の人員補充や環境面の整備により、より良い運営ができるようにしていきたい。

サービス推進課

部署目標 (令和4年度)	【1】採用強化：問合せ200件 面接75件 → 実績 問合せ202件 面接97件	達成
	採用 介護 40名 (内新卒5名) → 実績 介護26名 (内新卒4名)	未達
	保育 5名 (内新卒2名) → 実績 保育15名 (内新卒3名)	達成
	【2】人材定着支援：離職 前年度対比 -6名 (離職率3%減) → 実績 +8名 (離職率3.3%増)	未達
	新卒フォローアップの実施 → 定着面談実施	達成

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
学校訪問	0	0	1	21	0	1	0	1	3	0	0	1	28
合同説明会	1	1	3	0	3	4	2	4	0	2	1	1	22
採用数	介護：26名 (内新卒4名) ※栄養士含む 保育：15名 (内新卒3名)												
離職状況	離職者 介護：35名 (前年比+7) 保育：11名 (前年比+1) 計46名 (前年比+8)												
	離職率 18.0% (前年比+3.3%)												
	※介護：17.0% (前年比+3.7%) 保育：25.0% (前年比+1.2%)												

【採用目標】

- 学校訪問：訪問数を大幅に未達と至った要因は求人案内の時期以外に意図的な訪問スケジュールを立てなかったことである。令和6年度は近隣の短大や専門学校は、施設見学者や内定者が出た時やボランティアなど、各種イベントの案内は訪問して案内するよう計画を立てて実行する。
- 合同説明会参加：埼玉県、ハローワーク、社協、学校等の説明会など22回参加。
コロナが5類に移行し、近隣の実務者研修養成校のコンタクトも復活させ、就職説明会へ参加。
- 法人ホームページ：ホームページから中途採用は昨年度に引き続き減少傾向が見られる。最近のインターネットやSNSユーザーは「活字より動画」に重きを置く傾向が見られる。令和6年度は採用ホームページやSNS (Instagram) の投稿を静止画ではなく動画も加えるようにし、採用HPにたどり着いた求職者の応募意欲を高められるよう編集を行なう。
令和5年度実績 (中途：26.8% 前年度比-10% 新卒：28.6% 前年度比+8.6%)
- 採用活動管理：採用課金型媒体では「ジョブメドレー」が最も採用率が高い。
また時期と職種にもよるが、地元紙の「ぱど」の折込チラシも採用率に大きく貢献し、費用対効果が高いデータを得られた。(デイ富士見の介護補助、看護師を計4名採用に至った)
採用活動費：採用にかかる費用を集計して予算管理をする。予算は6,000,000円。
→ 令和5年度 予算：6,000,000円、実績：5,960,622円 (+39,378円)
光洋通信で発生した令和5年度の採用費用は2,317,622円、運用期間中の採用人数は7名。
一人当たりの採用費用は331,089円。

【定着支援目標】

- 新卒フォローアップ：1・3・6・12か月で面談を実施。令和5年度7名。
中途採用も1・3・6・12か月の時期に面談希望の有無を確認し、希望者には実施。
- サイボウズのワークフローの他、個人フォルダを活用した情報共有の実施・情報を把握することで、打合せや面談のスケジュールをスムーズに実施していく。

ひまわり保育園

目 標	<p>【1】 入園児を7月までに12名（稼働率63%）⇒ 53%未達</p> <p>【2】 保育の質の向上：キャリアパス研修を積極的に受講する。 常勤職員を中心に内部研修を実施する。毎月内部研修を実施</p> <p>【3】 仕事の効率化,ICT化を推進する</p>
-----	--

令和5年度の入園児実績

	クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均	
	定期的	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	3	1
1		0	0	2	3	4	4	4	4	4	5	5	5	3.3	
2		7	7	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	6.9	
3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		7	7	8	10	11	12	12	12	12	12	13	14	15	11
稼働率		37%	37%	42%	53%	58%	63%	63%	63%	63%	63%	68%	74%	79%	58%
一時預かり	27	12	6	1	3	8	4	12	7	11	7	9	9		

行動目標

【稼働状況】

- ・地域枠（定員9名）は7月で定員にできたが、従業員枠の確保が停滞し、目標未達となる
- ・下期以降従業員枠の利用促進の為、他法人、企業との共同利用契約を用意

【保育の質の向上】

- ・毎月内部研修を実施
- ・むさしの森保育園の外部研修へ参加
- ・市区町村で開催する外部研修へ参加

【業務の見直し】

- ・園児が少ない分、職員の時短勤務
- ・チャイルドケアウェブと請求システムとの連動による業務改善

【総括】

従業員枠の確保は採用と連動するため、子育て世代の介護職の採用枠を用意するも採用が停滞している為、採用に依存した運営は厳しい現状。今後は従業員枠を一定数自法人に確保しつつ、余裕部分については、共同利用の契約を進め園児の確保をすすめる。

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

事業所目標	【1】年間平均稼働率 98%以上	→ 97.9% 未達
	【2】ケアマニュアル及び具体的支援場面の浸透	→ 未達
	【3】個別ケア、認知症ケアのスキル向上	→ 未達
	【4】人財育成（意識改革と資質の向上）	→定期面談を実施 達成
	【5】職員定着率アップ（離職率10%以下）	→特養全体で18% 未達

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1】全体稼働	99.7	100.1	100.7	100	97.5	95.7	96.1	99.3	97.8	98.4	94	95.2	1174.5	97.9
【1】特養延べ人数	2961	3087	2996	3089	3024	2872	2969	2894	2968	2989	2702	2943	35494	2958
【1】延べ入院人数	87	115	68	110	70	86	60	84	50	64	112	101	1007	83.9
【1】新規申し込み	2	2	5	3	3	2	3	3	3	2	5	1	34	2.83

【1】稼働
 年度当初は99%以上の稼働を維持していたが、夏季、冬季に新型コロナの発生等の影響もあり、入退去がスムーズにいかない状況となった。特に1月、2月については大規模なクラスターが発生し、入院や退居などが多くなってしまった。また、新型コロナ流行期には、近隣の病院や施設も同様に感染が拡がっていることから、新規の調査等も滞ってしまう事態が生じていたため、今後はこれらも見越した受け入れ準備と体制づくりが必要であると考えます。

【2,3】ケアマニュアルの浸透及び具体的支援場面の浸透、個別ケア、認知症ケアのスキル向上
 ユニット会議内でケアマニュアルのテーマについての共有ができていた。
 個別ケア、認知症ケアのスキル向上については具体的な取り組みの実施はできなかった。
 e-ケアラボによる内部研修を行い、法定研修について一定の研修成果はあったが、個別ケアや認知症ケアについて具体的な取り組みはできなかった。

【4】魅力ある職場環境の整備
 新入職員に対する定期面談の実施を行い、細やかな配慮ができた
 各委員会で委員長を選出し、委員長中心に会議や運営を進行する形ができた

【5】職員定着率アップ（離職率10%以下）
 年間離職者数14名（うち介護職12名）介護職員離職率22.8%
 年間離職率は特養全体で 18%となり目標未達。
 退職理由としては、人間関係によるもの3名、給与等の待遇面3名、結婚、転居3名、メンタル疾患によるもの2名等があったため、働く環境の整備やコミュニケーション（評価、承認、指導等）の改善が必要と考える

むさしの園デイサービスセンター富士見

事業所目標	【1】稼働率 80%/月
	【2】個別ケア・認知症ケアのスキル向上
	【3】感染症対策、事故再発予防、クレーム処理等の対応力の向上
	【4】定着率向上（離職率10%未満）
	【5】業務継続計画（BCP）の作成と周知

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			平均	前年度
【1】稼働	80	67	85	86	81	83	84	82	80	84	82	81	81	74
【1】利用人数	901	817	997	1005	980	968	977	960	867	905	919	942	937	864.0
【1】介護給付	813	744	922	923	901	872	871	865	779	818	830	834	848	807.8
【1】総合事業	88	73	75	82	79	96	106	95	88	87	89	108	89	56.5
【1】新規申込	3	3	6	4	2	6	5	4	5	2	1	5	4	3.8
【1】登録廃止	2	1	2	3	5	2	2	5	5	4	4	5	3	3.8

行動目標

1【稼働】

5月に新型コロナによる利用者減少がありましたが、年間稼働率目標は達成する事が出来ました。

利用人数も月平均936.5名と前年平均864名から72.5名増となり年間870名の増加となりました。

それに伴い、令和6年4月から事業規模が通常規模から大規模1へと変更になっています。

総合事業・予防介護も月平均88.8名となり前年の56.5名から32.3名増加しました。要因としては、現行相当サービスの新規受入れ、通所Aからの切り替えに力を入れた事で、地域包括支援センターのニーズに応えた事が考えられます。

2【個別ケア・認知症ケアのスキル向上】

認知症チームを中心に、課題を抱えたご利用者へのアプローチ方法を考え、職員への周知を徹底し職員全員で関わる事で、介護技術や認知症対応の質の向上に繋がりました。

3【感染症対策、事故再発予防、クレーム処理等の対応力の向上】

感染症対策は引き続き行いながら、5類への引き下げに伴いテーブルのパーテーションを1月より撤去しました。5月に新型コロナにかかったご利用者がいたが、感染症対策を行っていた事で大きなクラスターにならずに済みました。ヒヤリハットは、迅速に報告書を作成し、職員に回覧して周知の徹底を図りました。

4【定着率向上】

新規採用は、看護師1名、補助パート3名。退職者は、看護師1名、介護職2名、ドライバー1名。

離職率17%。介護職の入職が厳しい状況の中で、離職防止の為に補助パートの採用を開始しました。

5【業務継続計画】

BCP計画書の作成に取り組み、計画書をもとにした基本的な訓練とBCPの見直しを行っていきます。

BCP委員会を設置し計画の実施状況を評価し、問題点や改善点を洗い出し次の計画に反映させる準備をしました。

むさしの園在宅介護支援センター

部署目標 (令和5年度)	【1】担当件数（請求件数）月205件	未達
	【2】新規件数 年間50件	達成
	【3】予防給付担当件数 月20件	達成
	【4】地域貢献活動	達成
	【5】研修、会議	達成

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
【1】担当件数	193	190	188	206	195	202	200	198	199	202	193	191	2357
【2】新規件数	6	8	8	5	5	1	3	4	4	6	1	3	54
【3】予防給付	22	24	24	26	22	26	23	24	23	25	25	25	289
【4】わかばカフェ（参加人数）	△	△	△	○	△	○	△	○	△	○	△	○	5
【5】研修・会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12

<p>【1】担当件数 1. 担当件数は、介護・予防合算で月平均 196.4件となり、目標は未達であった</p> <p>【2】新規件数 1. 年間54件となり、目標の50件は達成した 2. 近隣包括の圏域会議には参加していたが、積極的な営業活動は行うことが出来なかった</p> <p>【3】予防給付 予防件数は月平均24.1件となり、目標の20件は達成した。老々世帯の担当するケースが多く、要介護のパートナーが要支援になり、そのまま予防給付を担当するケースが非常に多かった</p> <p>【4】わかばカフェ 新型コロナが5類に変更となり、7月から隔月でオレンジカフェを再開することが出来た。再開に向けて、チラシの作成と包括や自治会、サロン等への告知を行い、集客を実施した。講座形式で再開したこともあり、近隣住民の参加も多かったが、講座を実施しない月（1月、3月）については集客が伸びなかった。</p> <p>【5】研修、会議 会議については、事業所内の会議、包括主催の圏域会議等予定通りに実施や参加することが出来た。主任ケアマネの研修を1名受講し、特定事業所加算Ⅱの算定を令和6年2月から開始することが出来た。</p>

むさしの園ホームヘルプサービス

事業所目標	【1】 個別ケア・認知症ケアの技術向上 【2】 専門知識の習得 【3】 状況判断・対応の向上 【4】 チームケアの重視・多職種との連携 【5】 総合事業生活援助型養成講座の開催 【6】 新規利用者の獲得
-------	--

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1～4】 研修実施	1	0	0	0	/	/	/	/	/	/	/	/	1	0.083
【5】 講座開催	0	0	0	0	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0
【6】 月利用者数	50	46	16	0	/	/	/	/	/	/	/	/	112	9.333

管理者退職に伴い、7月末で事業休止となりました
 その後も人材確保が困難なため事業再開はできませんでした

生活困窮者に対する相談支援事業

部署目標 (令和4年度)	【1】相談開始から終結まで3カ月以内	未達
	【2】セーフティ事業者連絡会で情報共有	達成
	【3】埼玉県社協への請求は月内に完了する	達成
	【4】当事業に関する研修の参加	達成

相談時期	紹介先	年齢	性別	支援金額	支援費の内訳	支援期間	その他
令和5年4月	狭山市社協	58	男性	88560	光熱水費、通信費	1ヶ月4日	
令和5年4月	狭山市社協	52	男性	38932	光熱水費	1ヶ月6日	
令和5年5月	狭山市社協	74	女性	57105	光熱水費	1ヶ月23日	
令和5年5月	狭山市社協	49	男性	13065	光熱水費、通信費	1ヶ月2日	
令和5年6月	市（自立支援相談）	30	男性	7301	光熱水費	5日	
令和5年7月	狭山市社協	76	男性	22831	光熱水費	3日	
令和5年10月	市（自立支援相談）	30	女性	22523	食費、日用品費	1ヶ月15日	
令和5年11月	狭山市社協	58	女性	33559	食費	11日	
令和5年11月	狭山市社協	67	男性	33044	光熱水費	支援継続中	令和6年度継続中
令和5年12月	狭山市社協	54	男性	32851	光熱水費、食費	1ヶ月20日	

<p>【1】相談から3ヶ月以内の支援については1件のみ現在継続中のケースがあり未達となった 該当者については借金の工面や不動産売買等の手続きも実施しているため、再度依頼がある可能性が 高いことから、支援継続中としている</p> <p>【2】令和5年8月に彩の国あんしんセーフティネット事業、第1回ブロック会議に参加し、 ブロック代表として担当相談員が事例発表を行った</p> <p>【3】支援後の請求に関しては、事実発生後すぐに申請することができた</p> <p>【4】当事業に関する研修会には【2】に加えて、令和5年度第2回社会貢献活動推進連絡会議に参加した</p>

むさしの森保育園

事業所目標	1. 稼働率年間平均103%（弾力運営含む） 2. 一時預かり事業の年間利用延べ人数を目標1500名とする 3. 地域貢献事業として園庭開放、室内解放イベントの定期開催の実施 4. 保育理念の再確認と自然保育の推進 5. 年間行事の見直し
-------	---

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
稼働率	99%	100%	100%	103%	103%	103%	103%	103%	104%	104%	104%	104%		103%
利用目標数	90	90	93	93	93	94	94	94	94	94	94	94	1117	93.1
実績	89	90	90	93	93	93	93	93	94	94	94	94	1110	92.5
内訳	0歳児	6	6	6	9	9	9	9	9	10	10	10	103	8.6
	1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	16.0
	2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	16.0
	3歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192	16.0
	4歳児	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	215	17.9
	5歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	18.0
一時預かり保育事業														
利用目標数	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	1500	
実績	75	55	73	77	84	79	51	67	65	54	66	70	816	

1. 年間平均稼働率103%

新卒が1名担任のため4月は6人で抑えてスタートしたが、5月も6月も新規入園児が来なかった。7月に3人入園し、10月にフルパートの採用ができたため定員10人まで受け入れたことで実績で103%を達成できた。来年度は0歳児は新卒で担任をせず、最初から定員に近い人数の受け入れをしていく。

また、稼働率での収入回復のみでなく、補助金を申請することで収入増を目指した。加配児童を追加で申請し8人で申請したことで年間補助額は7,992,000円となった。

2. 一時預かり事業の年間利用延べ人数を目標1500名とする

正職員2名を配置し、専用の部屋でこどもを保育する体制のため1500人以上を目指したが、年度のはじめに利用していただく新規児童の営業活動を年度末に行わなかったため、75人となる。また年度の途中に在園クラスの担任1名が休職したことで10月～2か月間ほど一時預かりが1名体制となり数字が落ちる。その後も新規の子どもの受け入れが伸びず目標達成ができなかった。翌年度は在園児のクラスに担任と子どもが入り運営する方法へ変更していく。

3. 地域貢献事業として園庭開放、室内解放イベントの定期開催の実施

子育て支援専門リーダーが中心となって毎週3回の園庭開放、2か月に1回の室内開放を行った。新規利用者が9名となった。利用者のうち子どもの発達に関して気になる子と、育児に関する相談があったご家庭が2件を保健センターに情報共有を行った。また、狭山市内で子育て関係の団体の交流会へ年2回参加し地域の方と顔の見える関係づくりを行った。

4. 保育理念の再確認と自然保育の推進

Do-capシートを変更し、園の保育理念に沿った保育の実践内容の振り返りと、クラス目標の設定と振り返りを行った。保育理念を意識する機会が増えたと感じる。また、自然環境を生かした保育を進めるために浦和と秩父の保育園の視察を自然保育リーダー、主任と参加した。具体的なイメージができ、製作や活動のなかに自然から取れた植物を生かした保育を3歳児を中心に行うことができた。来年度もそれらの活動が定着していくようにしていきたいのと、ビオトープなど命の大切さや自然を大切にすることが抱けるような活動を進めていく。

5. 年間行事計画の見直し

今年度初めての行事の親子遠足は幼児は5月、乳児は10月に開催。保護者様より体を動かしながら親子で交流が持ててよかったと感想をいただきました。また、乳児親子遠足ではいつも子ども達が遊んでいる森林ゾーンやリハビリロードで実施したことで、自然の中で過ごす気持ちよさや子どもが自然の中でどんなことに興味を持って遊んでいるかを体験していただき、園の保育理念に対しての理解が深まったというご意見をいただいた。

11月に食育のため、自分たちで育てた野菜で調理して食べる収穫祭を行った。人参と大根がうまく育たずほとんど購入した野菜になってしまったが、いつもあまり野菜を食べない子どももよく食べていた。

当初予算との比較

【収入の部】

委託費収入：0歳児を定員の10名まで受け入れられたこと、公定価格が5%増えたことで600万ほど収入が増えました。

利用者等利用料収入：今年度から利用者の主食費を800円増額したことで収入が50万ほど増えました。

その他事業収入：障害児が4人から7人に増えたことで、障害児保育事業補助金収入が約300万ほど増えました。

一時預かり保育が前年度よりも目標人数に達成できず-21万

【支出の部】

人件費：令和4年度 3月時点

保育従事者 正職20人、非常勤（常勤換算）3.9人（うち保育士2.7）

調理 正職2人、非常勤（常勤換算）1.9人

令和5年度 3月時点

保育従事者 正職22人、非常勤（常勤換算）5.7人（うち保育士4）

調理 正職3人 非常勤（常勤換算）2.4人

予算よりも530万ほど上昇。年度末退職者6人、産休予定者2名の補充のため、10月頃から翌年度人員が3人入職。3月末に新卒、一時預かり担当予定者の4人が週2で勤務したことに
より非常勤の人件費が上がる。

保健衛生費：ボトル購入からタンクに変更、ボランティアによる雑巾製作などコツコツ削減で-8万
給食費：物価上昇もあり30万 約5.2%上昇。

水道光熱費：77万削減。エアコン設定温度の徹底とコロナが流行した前年度の時のような、
窓を開けてエアコンを廃止したことで使用料を抑えることができたと考えられる。

研修費：外部研修への参加が大幅に増えたことで増加。

修繕費：コマニーのドア、雨水の排水工事があり、修繕が上がった。

広報費：求人サイトではなくホームページや学校からの紹介によって抑えられた。-65万